

令和4年11月15日

生産緑地の維持・活用に関するアンケート調査結果の報告会

講演「都市農業・都市農地の新たな展望について」のご案内

一般財団法人農政調査委員会
東京都千代田区紀尾井町3番29号
日本農業研究会館4階

拝啓

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当財団では「都市農業・農地問題に関する調査研究」に関する研究会を設け、2017年より関係機関、関係都市でのアンケート調査等を実施しております。

我が国の農業は、農業従事者の減少、高齢化の進展及び農地の荒廃等の共通課題を各地で抱えており、とりわけ、都市・近郊農業は、深刻化しております。一方、「都市農業振興基本法」が制定され、都市農地は「宅地化すべきもの」から「あるべきもの」に転換しました。同時に、いわゆる「2022年問題」など、生産緑地をめぐる運用等が大きく変化しています。

都市農業・農地及び農業経営に関しての実態と意向を踏まえた施策が必要となっており、当財団では2017年より、相模原市内の農地の状況や、近年の都市農地をめぐる意向について聞き取り調査を実施しました（主な成果物として、農政調査委員会編「都市農業・都市農地の新たな展望」『日本の農業』第255集、2021年1月15日）。さらに、2021年度は、相模原市での生産緑地所有者を対象としたアンケートを実施いたしました。

本セミナーでは、法制度をめぐる状況や、全国の情勢の解説のほか、これまで相模原市内で実施いたしました生産緑地の維持・活用に関するアンケート調査結果を交えながらご報告いたします。

時節柄、ご多忙のこととは存じますが、多くの方々のご参加をお待ちしております。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に関して、裏面の注意事項をご確認ください。

講演題目「都市農業・都市農地の新たな展望について

～法制度の改正と全国・相模原市の動向比較～

小川真如（一般財団法人農政調査委員会専門調査員）

日時：令和4年12月12日（月） 14:00 受付開始 14:30～16:00 講演・質疑応答

場所：相模原市民会館 講習室

〒252-0239 相模原市中央区中央 3-13-15

定員：先着30名

会費：1,000円（資料代）

参加申込書：別紙

申込先・お問い合わせ先

一般財団法人農政調査委員会

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番29号 日本農業研究会館4階

E-mail: info@apcagri.or.jp

Tel: 03-5213-4330 Fax: 03-5213-4331 担当＝竹井・小川

※新型コロナウイルス感染症拡大を防止し、利用者の皆様の安全を守るため、ご参加に当たっては、次の条件をお守りいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ・最前列席は舞台上の発生等を伴う出演者から十分な距離をとることとし、最低でも水平距離で2メートル以上あけてください。
- ・入館の際は手指の消毒や手洗いを行ってください。
- ・社会的距離（ソーシャルディスタンス）を確保してください。また、来場者の待機場所や入場列等について来場者同士で最低1メートル（できれば2メートル）の距離を保つよう努めてください。
- ・来場者は必ず事前に検温し、健康状態に不安のある方は来館を控えてください。
- ・セミナー前後の交通機関の分散利用や飲食・会合の抑制等、施設外での感染防止についてご協力をお願いします。
- ・過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域に訪問された場合にはご参加を控えてください。